



返済額及びこれに準じる額（一部）

(3) 実質公債費比率

一般会計などが支払う町債の返済額及びこれに準じる額（一部）

(2) 連結実質赤字比率

町の全会計の赤字と黒字を合算し、町全体の収支状況を標準財政規模と比較して指標化したもので、町全体の運営状況を示します。

(1) 実質赤字比率

一般会計の赤字額をその町の標準財政規模標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模を示します。普通税、地方譲与税、普通交付税などの合算額と比較して指標化し、財政運営の状況を示すものです。

■健全化判断比率の状況（単位：％）

| 区分 | 28年度 | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|----------|------|---------|--------|
| 実質赤字比率 | — | 15.00 | 20.00 |
| 連結実質赤字比率 | — | 20.00 | 30.00 |
| 実質公債費比率 | ▲0.6 | 25.0 | 35.0 |
| 将来負担比率 | — | 350.0 | — |

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率は赤字額がないため、将来負担比率はマイナスとなるため「—（該当なし）」を記載しています。

■資金不足比率の状況（単位：％）

| 区分 | 28年度 | 経営健全化基準 |
|--------------|------|---------|
| 地方卸売市場事業特別会計 | — | 20.00 |
| 公共下水道事業特別会計 | — | 20.00 |
| 水道事業会計 | — | 20.00 |

※資金不足比率は、資金不足額がないため、「—（該当なし）」を記載しています。

(4) 将来負担比率

町の一般会計などで、将来支払わなければならないものと支払う可能性のある負担の程度を標準財政規模等と比較して指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示します。

(5) 資金不足比率

公営企業会計で、営業収益に対する手持ち資金の不足額の割合を示します。

決算から見える・町の財政の健康診断結果は…？

決算メモ：「普通税」と「目的税」

地方自治体が賦課する地方税は普通税と目的税の2種類。このうち普通税は使い道を特定しないで賦課され、地方自治体の一般経費となります（町県民税、固定資産税、軽自動車税など）。

目的税は、あらかじめ決められた使用目的や事業の経費とされるもので、町では都市計画税などが定められています。

平成28年度の町税収入のうち都市計画税は2億690万円、入湯税は671万円でした。これらは以下の事業を実施するための財源として使われました。

【都市計画税】

- 公園維持管理及び公園施設遊具改修 521万円
- 都市計画事業（公園や街路整備の財源とした町債償還） 5,268万円
- 公共下水道事業特別会計への繰り出し 15億1,668万円

【入湯税】

- 桜樹保護、桜まつり、夏まつり、観光物産協会補助・観光キャンペーンなど 2,253万円

後期高齢者医療

| | 28年度 | 前年度比 |
|----|-----------|-------|
| 歳入 | 2億4,197万円 | ▲1.1% |
| 歳出 | 2億3,857万円 | ▲1.3% |

国民健康保険

| | 28年度 | 前年度比 |
|----|------------|-------|
| 歳入 | 25億4,513万円 | ▲5.4% |
| 歳出 | 23億8,278万円 | ▲6.0% |

介護保険

| | 28年度 | 前年度比 |
|----|------------|-------|
| 歳入 | 13億4,793万円 | 2.4% |
| 歳出 | 12億4,140万円 | ▲0.1% |

工業用地造成事業

| | 28年度 | 前年度比 |
|----|-----------|------|
| 歳入 | 2億4,821万円 | — |
| 歳出 | 2億3,535万円 | — |

公共下水道事業

| | 28年度 | 前年度比 |
|----|------------|-------|
| 歳入 | 15億1,621万円 | 41.3% |
| 歳出 | 14億8,750万円 | 41.1% |

後期高齢者医療特別会計の歳出は2億3,857万円、前年度と比較して1.1%の減、国民健康保険特別会計の歳出は23億8,278万円、前年度と比較して6.0%の減、介護保険特別会計の歳出は12億4,140万円、前年度と比較して0.1%の減、地方卸売市場事業特別会計の歳出は3,622万円、前年度と比較して7.7%の減となりました。

また、仙南夜間初期急患センター事業特別会計の歳出は4,998万円、前年度と比較して1.2%の増となり、公共下水道事業特別会計の歳出は14億8,750万円、前年度と比較して7.5%の増、工業用地造成事業特別会計の歳出は2億3,535万円、前年度と比較して1.1%の増となりました。

地方卸売市場事業

| | 28年度 | 前年度比 |
|----|-------|-------|
| 歳入 | 490万円 | 1.2% |
| 歳出 | 362万円 | ▲2.7% |

仙南夜間初期急患センター事業

| | 28年度 | 前年度比 |
|----|---------|-------|
| 歳入 | 5,294万円 | 39.9% |
| 歳出 | 4,998万円 | 58.6% |

水道企業会計

| 収益的収入 | 7億330万円 | 資本的収入 | 3億854万円 |
|-------|-----------|-------|------------|
| 収益的支出 | 5億3,133万円 | 資本的支出 | 6億2,501万円 |
| 収支 | 1億7,197万円 | 収支 | ▲3億1,647万円 |

■決算状況分析主要指標【一般会計】（単位：％）

一般会計の決算状況を分析した主要な指標を見ると、経常収支比率は前年度より0.3ポイント増の88.4%と前年度並みであったものの、引き続き財政の硬直化が続いています。

| 指数 | 28年度 | 県内町村平均(27年度) | 説明 |
|--------------|------|--------------|--|
| 財政力指数(3か年平均) | 0.61 | 0.50 | 地方公共団体の財政基盤の強弱を示す指数で、標準的な行政活動に必要な財源をどれくらい自力で調達できるかを表しており、普通交付税の算定基礎となる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の3か年平均値をいいます。 |
| 経常収支比率 | 88.4 | 87.7 | 税金などの一般財源を、人件費や扶助費・公債費など経常的に支出する経費にどれくらい充当しているかをみる指標で、この比率が高いほど、公共施設の整備など投資的な経費に充当する財源の余裕が少なくなり、財政運営が厳しいといえます。 |
| 積立金現在高比率 | 48.5 | 244.0 | 町の財政（標準財政規模）に対する積立金現在高の割合を示します。将来の収支変動に対応し、長期間にわたり安定した財政運営を行うための財政調整基金と、町債償還に充てるための財源である減債基金などがあります。 |
| うち財政調整基金 | 44.1 | 60.4 | |

■町債現在高

| 会計区分 | 28年度末 |
|-------------|------------|
| 一般会計 | 57億4,582万円 |
| 公共下水道事業特別会計 | 53億9,062万円 |
| 水道事業会計 | 16億8,613万円 |

■町有財産現在高

土地（山林含む）… 839,304㎡
 建物… 89,510㎡
 有価証券・出資による権利… 505,815万円
 基金… 33億6,261万円

| 基金内訳 | 28年度 |
|----------|------------|
| 財政調整基金 | 21億9,552万円 |
| 減債基金 | 2,718万円 |
| 長寿社会対策基金 | 6,336万円 |
| 土地開発基金 | 3億99万円 |
| うち土地 | 3,346万円 |
| その他の基金 | 7億4,210万円 |
| 計 | 33億6,261万円 |